

夏見台地区懇談会を 開催しました

令和5年11月4日(土)
夏見台小学校
校長 金子 勝一
PTA 会長 恒屋雄治
地区懇談会委員

今年度も昨年につき、無事開催することができました。ご多忙の中、船橋市や夏見台地区で地域活動をされている方や部活動関係者・夏見台小学校保護者の皆さまなど、たくさんの方にご参加いただきました。
つきましては表題の件を下記の通りご報告させていただきます。

※夏見台地区懇談会とは、学校とPTAが主体となり、夏見台小学校区内で活動されている諸団体、関係者をお招きし、児童の生活環境に関わる事項(教育・交通安全・防犯・防災・スポーツや放課後の諸活動)について、情報・意識交換することを目的に開催しています。

夏見台 PTA 会長のお話

本日はお忙しい中ありがとうございます。コロナということもありましたが今年も開催することができました。例年、災害に対する備えとか、お話させていただいております。毎年違うテーマで話しをすることもできるのですけども、なかなか災害というところで備えてはいるけども、だんだん意識が薄くなってしまふ部分があると思うので、毎年似たようなテーマにさせていただいて、注意喚起を流すではないですけれども、あらためて意識していくことをできたらと思っております。

夏見台小学校 校長先生のお話

体調を崩している子も多くなっています。インフルエンザも流行ってきていて、学級閉鎖もいくつか出ました。これはうちの学校に限ったことではなくて、市内でも学級閉鎖や学校閉鎖になっているところもありますので、このあたりも注意していかないといけないと思っております。子どもたちの登下校もそうなのですが、放課後の活動の中で、地域の方々によく見ていただいている、こんなことがあったぞとお電話をいただくなどもありますので、ぜひ引き続き『子どもたちの安全』といったところで見守っていただけたらと思います。

テーマ 子供たちと見直そう 夏見台地区の安全

本年度の夏見地区懇談会のテーマは「子供たちと見直そう 夏見台地区の安全」としました。
次ページより、アンケート 及び 地域の皆さまよりいただいた意見を掲載いたします。

アンケート合計枚数 60枚 ご協力いただいた人数 45人

■交通安全について

設問1:ご家庭で交通安全について子どもと話し合いをしていますか

- 1:しっかり話し合えている … 7人
- 2:少しは話し合えている … 25人
- 3:あまり話し合えていない … 13人
- 4:全く話し合えていない … 0人

⇒「1, 2」を選択した方はどのような話し合いをしましたか

- 道路を渡るときは左右を確認
- 車(自転車など)に気を付ける
- 通学路以外は通らない
- 信号のない交差点や道路の渡り方
- 信号の大切さ
- 実際に一緒に歩いてみた



設問2:夏見台地区の交通安全面で危険だと感じる箇所があれば教えてください

- 福太郎の所の横断歩道(信号のない横断歩道)
- ガードレールのない歩道
- 夏見町医療センター沿いの道路
- ケーズデンキの向かいの道路など、バス通りの歩道が全体的に狭い
- 団地付近ファミマの交差点は自転車のノーブレーキが多い
- 学校の前
- 夏見緑地の道路

■防犯について

設問1:ご家庭で防犯について子どもと話し合いをしていますか

- 1:しっかり話し合えている … 6人
- 2:少しは話し合えている … 24人
- 3:あまり話し合えていない … 15人
- 4:全く話し合えていない … 0人

⇒「1, 2」を選択した方はどのような話し合いをしましたか

- 知らない人に話をしない
- 家で1人で留守番中はインターホンや誰か来ても出ない
- 知らない人に名前や住所など教えない
- 1人で歩いている(授業等は除く)に知っている人に声をかけられても、親と話していないような内容の時は「家で確認します」と言うように伝えている



設問2:夏見台地区でお子さんが不安を感じる事案(声かけ、不審者等)にあったことがありますか

- 1, ある … 6人
- 2, ない … 34人

⇒「1, ある」を選択した方は、お答えできる範囲で具体的に教えてください

- 中学生のお姉さんが夕方、男性につけられていた
- 何年か前に変質者を見かけた
- 公園で男性による声かけがあった
- 17時過ぎに1人で帰宅途中の2, 3年生くらいの子をずっと見ている男性がいて、こちらに気付くと逆方向へ走っていった



設問 3:地域に関する防犯情報をどこから得ていますか(複数回答可)

- 1、ふなばし情報メール … 40人
- 2、警察の情報メール … 3人
- 3、SNS … 2人
- 4、知人からの情報 … 10人
- 5、その他 … 1人(学校からの配信メール)

■その他、夏見台地区に関して気になることなどがありましたら ご自由にお書きください

- 歩道と車道の区切りがない
- 歩道で路上喫煙者が複数いるため、子供たちが通れない
- 人通りが少ない道路の夕方は暗く怖いので、見通しの良いように改善してほしい

以上



- 家族でハザードマップを確認しておきましょう
- いざという時の避難場所、集合場所を話し合っておきましょう

- 地域みんなで見守れる環境を整えましょう
- 学校、家庭、近隣で協力し合えるようにしましょう



夏見台地区の安全などについて意見交換

■夏見台地区懇談会を終えて、出席者の方の声(アンケート)

- 夏見台地区の皆さまの意識の高さに毎年刺激をいただきます
- PTA活動を卒業生の保護者の方にも広げて有志を募れば少しは集まるのではないかと思います
- もう少し学校の話を知りたい
- 先生や親同士、親と知らない子などの「フェイス to フェイス」が大事だと思う。
コロナ禍で顔が誰かわからない中でこういう機会をもっともっと持つてつながっていくことが必要だと思う。

おわりに



今回ご紹介したご意見以外にも、貴重なご意見をいただき、大変有意義な談会となりました。皆様のお話を聞いて、知らなかったことや大事だと感じたことはすぐに子どもや家族と共有しました。

事故はいつ起こるかわからないからこそ、まずは子どもたちに日頃から安全意識をもたせていくこと。自分の身は自分で守る、自分で判断できるという素質を高めていくことがとても重要で、今後学校でも課題として取り組んでいただきたいと思います。

今回のテーマ「子供たちと見直そう！夏見台地区の安全」ですが、普段何気なく交わしている挨拶やつながりが大切だと痛感しました。この場をお借りしまして、日頃よりご尽力くださっている地域の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。

東日本大震災の被災状況のお話

今日私が話をしますのは、3.11 東日本大震災で東北に行ってきた時のお話です。被災県といわれる宮城県、福島県、岩手県、トータルで 5 回行ってきました。そのうちの 1 回目と 4 回目の話をします。本当に多くの方々が亡くなられてしまいました。警察とか消防、自衛隊…災害警備に従事した方々も亡くなってしまいました。「人も街も消えた」とかありますけども、千葉に住んでいる方々もガソリンが手に入らないとか食料が手に入らないとか、そういった記憶があると思います。

自分がいた第一機動隊、ちなみに千葉県には第一～第三まで機動隊があります。この第一機動隊というのが幕張にあるのですが、その時大規模停電がありまして私は柏の方に行っていました。そして柏についたとたんにドカーンと強い揺れに見舞われまして、その時に第一機動隊で残っている人で撮った写真になります。この辺が液状化現象、ここは地盤沈下してしまっている状況でございます。(写真を見せながら)ちなみに当日屋内に居られた方がいます。屋外と屋内に居た方の揺れは全然違います。私はちょうど屋外に居まして、ものすごいバスが揺れだしたのですが、それでもそこまで強い揺れというのは感じませんでした。屋内に居た方は、本当に死んじゃうのではないかと、船橋とか浦安、印西、その辺に居られた方の話だと本当に恐怖でしかなかったとそういう感想しか聞いておりません。第一機動隊の方もこんな風に地割れしたり地盤沈下したり、そういった状況でした。

振り返りですけども、東日本大震災というのは、3.11 これは皆さん絶対に忘れることはないと思いますが、午後 2 時 46 分、地震が発生ということで、マグニチュード 9、これは本当に物凄い大きな揺れでございます。マグニチュードが一つ増えると地震の威力というのが 32 倍大きくなります。ですので、マグニチュード 10 が起きたら、この 9 の 32 倍の大きさが発生するということになります。ということで 10 メートルを超える大津波、これが東北地方を襲いまして、千葉県でも旭市のイイオカで 7.8 メートルの津波が第三波の時に発生している、それを凌ぐ津波が東北沿岸を襲ったということで、岩手・宮城・福島ここは壊滅的な状況。これに伴いまして、第一機動隊、3 月 16 日に県警本部の方から岩手に行ってこいという命令が下りまして、岩手県の上閉伊郡大槌町そちらの方に部隊 100 名を出しての出動要請が下りました。

そもそも岩手県は地震が非常に発生していて、岩手県の人々は防災意識が非常に強いところでございました。大槌町とはどんなところかということで、面積 200 キロ平方メートル、これは千葉県でいうと成田市と同じで、人口が多古町と同じ、という規模です。やはり海沿いということで海産物が有名なところですよ。

令和 3 年 1 月現在で全国で死者 1 万 5893 人、行方不明が 2553 人(宮城県 1213 人、岩手県 1110 人、福島県 196 人、千葉県 2 人、青森県 1 人、茨城県 1 人)。自分たちが行ってきました大槌町は 802 名の死者を出しております。行方不明 520 人。岩手県でいうと 3 番目の被害となっております。大槌町どんな被害を受けたかという、津波がグワーツと来て川を逆流してその間にある市街地は全て津波に飲み込まれてしまった状況です。瓦礫が津波でやられてしまって散乱した状況です。

新聞にも出ていましたが、大槌町の町長、この方最初行方不明になっていてしばらく見つからなかったのですけれども、地震発生から 8 日後、国道 45 号線沿いでご遺体となって発見されました。役場から 500 メートル先の国道 45 号線沿いでご遺体が発見された状況であります。この方非常に残念であったのが、住民とか市の職員の方々に対して津波が絶対来るから駐車場じゃなくて建物の屋上に逃げようということで、全員の無事を見届けて、自分も逃げるか、といったところで 2 回目の津波に飲み込まれてしまった、そのまま流されてご遺体で発見、という残念な結果になっております。

100名、車両11台で3月20日から26日まで岩手県の方に行ってきました。宮城県の方で8日ぶりにおばあちゃんとお孫さんが生きた状態で生存して発見されたり、大々的に奇跡と報じられたりしております、自分たちの岩手県の方にも「生きている人が絶対いるから奇跡を言じて捜索に当たろう」ということで、自分たちの任務というのはご遺体を発見するのではなくて『生存者を探す』のが任務なのだということで、奇跡を信じて任務にあたりました。遠かったうえに東北自動車道はデコボコや地割れとか、車線規制とかあったり不便な道であったりガソリンもなかなか手に入らない、警察だ消防だ自衛隊だ、そういった車両でいったところで絶対にガソリンを入れられる保証もないまま岩手に行きました。寝泊まりさせていただいた街から50キロ、2時間かけて行きました。3月だと、千葉の方は暖かいですが、岩手の方は氷点下マイナス4℃とかマイナス5℃とかそういう状況でしたので、アイスバーンが起きている、そういう状況で行ってまいりました。状況ですが、言葉は悪いですが、戦争があったとか、何か爆発してしまったとか、そういう感じと取れるような印象でした。

どんどん海に近付くにつれてこのようなひどいありさまでした。自衛隊が道を作ってくれましてそのあとを續いて走って行きました。「津波火災」といった言葉を聞いたことがある方はいらっしゃいますか？気仙沼とかここもそうですが、海上にある流出してしまった油の入ったタンク、これが何かしらの原因で火が点くと、もう海の上であろうが何だろうがその火が消えない、消えない状況で津波にその火がポンとのって街を襲うということで、津波に飲み込まれて亡くなられた方は当然いらっしゃいますが、火に焼かれて亡くなられた方もいたということで、津波火災、これによって焼死体で発見された方も多数いたと聞いております。

釜石警察署というところが管轄で、そちらの署長の方から、行方不明になってしまった署員が3名います、2名が残念ではありますが既にご遺体で発見されています、残り1名が見つかっておりません、と報告を受けました。その2人のうちの1人のご遺体は大槌町の病院の駐車場の一面で車内からご遺体で発見、このような状況です。もう一人いた方は偶然反対から手を差し伸べてくれた方が助けてくれてその方は無事助かったのですが、翌日痕跡を探して恐る恐る警察車両だよなああと見に行ったら、中でくの字になって曲がって亡くなられていた上司を発見、その方はやはりそういう状況を目の当たりにしてしまったのでもう半狂乱になって、入院しないといけないのにそれも振り払って、病院から逃げ出して2時間かけて署長のところに戻って自分が殺してしまったのだと、罪の意識をもってひたすら地面に頭を打ち付けて土下座して謝っていたと聞いています。このようにひどいありさま、警察も自分たちが行ったところで助けようもない状況の中で瓦礫を一つ一つどかしながら捜索していたというのが実状であります。

5階建ての建物ですが5階建て以上の津波が襲ってきました。車も簡単に持ち上げられて工場の上ののっている。氷点下4、5℃とかのなか、捜索をしていたが、本当に行ったとき非常に寒くて、1℃とかになる日なんてまずなかったですね、絶えずマイナス、マイナス、みたいな。一番寒い時でマイナス5℃とか、そんな状況での捜索を行いました。捜索するところも本当に行方不明の方が多くて、行方不明リストというのがありますが、工場とか捜索していますと、年齢だれだれ、名前だれだれ、当時の着ていた服装は青いジーパンでとか、発見されましたら私のところまでご報告をお願いしますと、こういった行方不明者リストがいたるところに貼っていました。

観光船浜百合といいます、釜石の港の方から流されてきたのが、これが然民宿の上ののっている状況です。大槌町の方は、これは記念としてこのまま残して下さい、と国に哀願したんですけども残念ながら危険な状況、この民宿がつぶれてしまって新たな被害が出るかもしれないということでもうすでに撤去されております。JRの線路が、津波で流されてしまって線路がグシャッと曲がっている状況です。瓦礫をどかして捜索にあたりました。一緒に働いていた同僚、やっぱり瓦礫がいっぱい出てるんで、釘を踏んでしまって足を貫通、ケガをしましたけども、翌日から、やらせてくださいと痛みを我慢しながらも捜索してくださいました。

自分たちは目の当たりにすることはなかったのですが、ここへ到着したとき近隣の方に、「ここに100体近いご遺体が津波で流されてしまって木に引っかかっていた」と聞いています。本当に地獄絵図だったと近隣から聞いております。

工場の中を捜索していき、いつ上から瓦礫が落ちてくるかわからない状況下での捜索でした。下がすぐ海だったり、アンバランスなところでの捜索をやったりとかもしながら生存者がいるかどうか捜索にあたりました。当然、川なんかでも捜索を実施しました。寒いんですよ、本当に。自分が入ったわけじゃないんですけど、隊員の方から「20分入っているのが限界です」というような、入った隊員そういつつも90分頑張ってくれました。入っているとすごく手がしびれたり足がしびれたり、もう少しで危ないというときにはさすがに自ら言って交代して、とにかく川の中の捜索、これも実施しました。

金庫がとにかく流されます。これはどこの県でもそうですが、金庫が流されてはいろんなところに散乱、これも警察としては管理、これもやらなきゃいけなかったんで、署の会計課、大変だったと聞いております。捜索していればいろんなものが見つかります。赤ちゃんの写真なんかが出てくるととにかく無事でいてほしいと上司が言っていました、遺体安置所がありますが、バラバラになってしまったご遺体もあり、半分に満たないが何個も何個もある、これが辛かったと、子供の大きさの、これは本当に辛かったなあといいながら涙を流しながら語っていました。タイトルにある「奇跡を信じて」というのがこれにつながります。

殉職警察官の発見、ということで、3名の隊員が残念ながらご遺体で発見、もう1名だけが見つからないんですよ、と署長が言っていた、この方の話につながるんですけども、28歳の巡査部長の方です。この方は私服勤務という形かわからないですが、国道45号線で住民避難をやってくれということで、住民避難を行っておいりました。そうしましたら1回この方は津波に飲み込まれます。45号線まで津波が来て津波に飲み込まれてなくなってしまった2人のうちの1人、この方と津波に飲み込まれて、それでも一度は2人とも奇跡的に助かるんですが、最後の無線、第二波の津波が来たらもう私たちは助かりません、それを言った直後から無線がもう通じない、ということで、1名の方は発見されてご遺体で発見ということで、この28歳の方だけは未だに見つからないということで、捜索を行っていた11日後、3月22日この45号線からさらに500メートル離れた大槌町こちらで捜索していた隊員がご遺体を発見、大川の中腹のあたりで私服の方がご遺体で発見、ということで引き揚げてみました。そうしましたら、普通津波に飲み込まれますとたいてい服が脱げてしまったりと、綺麗なご遺体ってまず無い、津波は泥が押し加かってくるのと同じです、ご遺体もすごく泥まみれ、脱げてしまって、持っているものは簡単になくなってしまっているということが多いのです。でもこの方につきましては、本当に綺麗な状態だったんですね、川の中ということもあってか、ということで引き揚げてみたら、財布が出てきて、亡くなってしまった方の名前と同じ名前の免許証が発見、ズボンから警察手帳が出てきて、大変なことになったということで、署長以下同僚も来てもらって、ご遺体を確認してもらったら、泣き崩れて、間違いありません、自分のところの署員ですということで。

亡くなってしまった方、生きて帰れるのが一番良いのかなあと思うんですけども、それでも最後に家族のもと、署長のもとに帰ることができたというのが私としては非常に頑張ることが出来たのかなあと思うことが出来ました。ただどうしても残念だったなあと思うのは、この方28歳ということで、生まれたての赤ちゃんが居たと聞いております。生まれてまだ3か月の赤ちゃん、ということで、この方、津波に流されている間もう一回だけ地面を蹴って空気を吸って子供のもとに帰りたかったのかなあって、私だったらそう思うんですけども、きっとこの方も同じ気持ちだっただろうなあと思います。お父さんも警察官だということで、お父さんも来てくれて、やはり息子の死というものを聞き入れられなくて、受け入れられなくて、本当に亡くなってしまったご遺体に一生懸命話しかけて、『おい起きろ、こんな警察官いっぱい来てくれるんだから、起きろ』と髪の毛をつかんで持とうとしたり、あとひげを生やしていたんですがひげを挟んで、いい加減起きろと頬を叩き始めたりとか、いろんなことをやっている姿に、これが親としての愛情なんだろうなあと思いました。この冷たい川の中に11日間いたということで、もっと早く見つけてあげたかったところなんですけれども、冷たい川というのが功を奏してか、綺麗な状況で発見されております。

災害救助犬も現場に駆けつけてくれました。地震が起きると当然そうなんですけれども、食事なんかも自分たちでどうにかしないといけないということで、カップラーメンとかおにぎりとか水、これを自分たちでどうにか調達、このような状況でした。寝袋もあらかじめありましたので寝袋も用意して、一見暖かそうに見えるんですけども本当に寒かったです。エアコンもきかないようなところで寝ましたので、ただそれでもみんなくたくたになって寝てしまった状況です。

4 回目のだいぶ落ち着いてきたところの宮城県に行ってきたのですが、この頃になりますとご遺体の捜索ではないです、治安が悪くなり、犯罪が非常に多くなるんですね。犯罪者が来て火事場泥棒、いろんなものを盗んでいくんですけども、こういったところに対しての警戒とか、ふれあい活動、住民の場に足を運んで懇談会をやったりと団結しておりました。みんな家を流されてしまって財産を失ってしまってご家族も津波で流されて亡くなって、そんな方々なんですね。それが本当に不思議だなあと。やはり最後は住民のつながり、横のつながりとか人のつながりというのが、こういった方々にも希望を持たせるんだなあと。どこへ行っても子供たち、警察車両が通るたびに、自衛隊消防隊もそうですが、通るたびに敬礼をやってくれると、逆に私たちも励みになりました。いろんな手紙も送ってくれました。できれば本当は学校教職員とかご家族の方とかいろんな方にこの話をして子供たちにぜひとも語っていただけたらなあとも思ったのですが、そもそも一番良いのは、こんな地震が起きなければこんな講演会もやる必要がないですし、思うのはやはりこんな事態なんか起きなければいいということでございます。

ただもう必ず起きると言われているのが南海トラフ地震と首都直下地震。首都直下地震は千葉県北西部が震源地じゃないかと言われています。仮にそこが震源地になった場合、大規模な被害が想定されます。南海トラフ地震も皆さんここに住んでいれば安全なんですけども観光なんかで海に行ったときに、館山とか南房総市とかそのあたりいましたら、津波が10数メートル、千葉県の試算では2000人亡くなると言われています。今回は津波がメインの話になってしまったんですけども、ここでも活かせること、活かせる知識があると思いますので、ぜひとも帰られましたらご家族の方と津波の危険、地震の危険、そういったことを話していただきまして防災につなげていただけたらと思います。

以上
(録音を文字起こしたのになります)

■内閣府 防災情報のページより 地震の際の心得 10ヶ条

<p>①まず我が身の安全を守れ！ 地震が起きたら、まず第一に身の安全を確保するため、テーブルなどの下にもぐりましょう。</p>		<p>⑥狭い路地、壁ぎわ、がけや川べりに近寄らない！ ブロック塀・自動販売機などは倒れやすいので注意しましょう。がけや川べりも崩れやすいので、近づかないようにしましょう。</p>	
<p>②すばやく火の始末！ ～あわてず、さわがず、冷静に～ 「火を消せ！」とみんなで声をかけ合い、調理器具、暖房器具などの火を確実に消しましょう。</p>		<p>⑦山崩れ、がけ崩れ、津波に注意！ 山間部や海岸部で地震を感じたら、ただちに避難しましょう。</p>	
<p>③戸を開けて出口の確保！ 特に鉄筋コンクリートの建物がゆがむと、ドアが開かなくなることがあるので、出入口を確保しましょう。</p>		<p>⑧避難は徒歩で、荷物は最小限に！ 指定された避難場所に徒歩で避難しましょう。荷物を持ちすぎると避難の支障になります。(車・オートバイ等は厳禁)</p>	
<p>④火が出たらすぐに消火を！ 「火事だ！」と大声で呼び、隣近所にも協力を求め初期消火に努めましょう。</p>		<p>⑨みんなで協力して「応急救護」を！ みんなで助け合ってけが人の手当をしましょう。お年寄りや体の不自由な人の手助けしましょう。</p>	
<p>⑤外へ出る時は、あわてずに！ 外出中の家族にメモを残し、お年寄りや子供の手をしっかりと握って、落下物に注意しながら落ち着いて行動しましょう。</p>		<p>⑩正しい情報を！余震を恐れるな！ うわさや、デマに惑わされないようにしましょう。テレビ、ラジオ、市町村等からの情報に耳を傾けましょう。</p>	